

大項目	No.	法人評価	目標の実施状況	達成状況
I	1	a	1 学修成果の評価方法を明確にし、学習成果の可視化を向上【実施】	○
	2	a	1 実務家教員の登用を促進【登用】	○
			2 実務家教員による授業科目開講率10%以上【15.1%】	○
	3	a	1 アクティブ・ラーニングを促す教育方法を取り入れた授業科目の割合を増やす【減：15.0%⇒10.7%】	×
			2 アクティブ・ラーニング実施率15%以上【10.7%】	×
	4	a	1 問題発見課題解決授業（PBL型授業）「地域技術学」を充実	○
			2 問題発見課題解決授業（PBL型授業）の開講年1科目以上【1科目】	○
	5	a	1 文理融合教養教育、異分野・学際領域教育を新たに導入	○
			2 異分野・学際領域教養科目の開講年1科目以上【1科目】	○
	6	a	1 TOEIC対策講座を開講【開講】	○
			2 TOEIC対策講座の開講クラス数年2クラス以上【2クラス開講：オンライン】	○
	7	a	1 テクニカルライティング教育を実施	○
			2 テクニカルライティング講座の実施回数年1回以上【工学部1年・4年、大学院修士1年】	○
	8	b	1 英語力診断テストVELCを利用する【中止】	×
			2 VELCの実施回数年4回以上【中止】	×
	9	b	1 優秀な留学生を確保するための計画を作成する【試験日程の変更】	○
			2 日本語学校対象外国人留学生入試説明会の実施回数年1回以上【中止】	×
10	a	1 海外留学における経済的支援として、経済的に就学が困難、かつ、学業成績が優秀と認められる学生に10万円を上限に給付を行う【実施】	○	
		2 海外留学奨学金説明会の実施回数年1回以上【中止】	×	
11	a	1 FD研修を開催する【開催】	○	
		2 FD研修の実施回数年2回以上【6回：オンライン含む】	○	
12	a	1 アドミッション・ポリシーを明示し、入学試験を実施する【学校推薦型選抜に筆記試験と小論文を導入】	○	
		2 工学部志望者数1,000人以上【1,433人】	○	
		3 薬学部志望者数600人以上【906人】	○	
13	a	1 入学試験実施要領等を作成し適切に実施・点検を行う	○	
		2 問題訂正の発生件数0件【学校推薦型：0件、一般選抜：中止】	○	
14	a	1 授業料減免制度の運用【修学支援新制度を実施】	○	
		2 入学金免除制度の運用【修学支援新制度を実施】	○	
15	a	1 特待生奨学金の給付の運用【12人】	○	
		2 大学院博士後期課程授業料半額免除制度の運用【1人】	○	
		3 大学院入学金減免制度の運用【15人】	○	
16	a	公共交通活用フリーパスを導入【導入】	○	
17	a	1 保証人懇談会を実施【オンデマンド配信により実施】	○	
		2 保証人懇談会の実施回数年1回以上【オンデマンド配信により実施】	○	

大項目	No.	法人評価	目標の実施状況	達成状況
I	18	b	1 教育後援会に対し、学友会による活動報告を実施【教育後援会で活動報告を実施】	○
			2 学友会活動報告会の実施回数年1回以上【1回】	○
	19	b	1 ピアサポートを実施【中止】	×
			2 ピアサポートの開催回数週3回以上【中止】	×
	20	a	1 学習サポート教室を実施【実施：オンラインと対面の併用】	○
			2 学習サポート教室の開催回数週1回以上【実施】	○
	21	a	1 臨床心理士及び心療内科医による学生相談を実施【実施】	○
			2 臨床心理士による学生相談回数週4回以上【週4回】	○
			3 障害学生コーディネーターによる学生相談回数週1回以上【週1回】	○
			4 心療内科医による学生相談月1回以上【月1回】	○
	22	a	1 市内企業見学会を実施【中止】	×
			2 市内企業インターンシップを実施【実施】	○
			3 市内企業見学会の実施回数年1回以上【中止】	×
	23	a	1 山口県及び山口県製薬工業協会と連携し、県内医薬品製造所の見学、県内インターンシップ、セミナーを実施【実施】	○
			2 医薬品製造に関わるセミナーの実施回数年1回以上【実施】	○
	24	a	1 教員採用試験合格率の向上を図る【実施】	○
			2 教員採用試験対策講座の実施回数年1回以上【実施】	○
	25	a	1 公務員試験合格率の向上を図る【実施】	○
			2 公務員採用試験対策講座の実施回数年1回以上【実施】	○
	26	a	1 学内企業セミナーを実施【学内合同企業研究セミナーをオンラインで実施】	○
			2 学内合同企業説明会を実施【学内合同企業研究会を実施】	○
			3 学内合同企業説明会の実施回数年2回以上【1回】	×
	27	a	1 ドローンを産業に応用した技術の開発を行う産学官連携の研究プロジェクトを実施【実施】	○
			2 支援事業者1件以上【1件】	○
	28	a	1 産業界と連携し、GMP活用型医薬品産業振興事業を実施【実施】	○
	29	a	1 地域の医療機関と連携し、医薬品を適切に使用するための投与・管理システム研究を実施【実施】	○
	30	a	1 大学院保護者説明会を開催【保証人懇談会をオンラインで開催】	○
			2 工学研究科修士課程の入学者15名以上【15名】	○
			3 工学研究科博士後期課程の入学者3名以上【0名】	×
	31	a	1 「地域課題解決研究事業」を実施【実施】	○
			2 地域課題解決研究事業の実施件数年5件以上【7件】	○
	32	a	1 「薬学的サイエンス・カフェ」を実施【実施】	○
	33	a	1 研究倫理について法令を遵守し、健全な研究活動を推進【推進】	○
2 研究活動に係る不正防止研修会の実施回数年1回以上【中止】			×	

大項目	No.	法人評価	目標の実施状況	達成状況
I	[1]	a	1 一般入試の志願倍率6.0倍以上【10.3倍】	○
	[2]	a	1 入学定員充足率100%【104.7%】	○
	[3]	a	1 就職決定率95.7%以上【95.6%】	×
	[4]	a	1 学生満足度87.3%【88.0%】	○
	[5]	a	1 外部資金獲得額119,023千円【172,013千円】	○
	[6]	a	1 科学研究費補助金申請率75.6%以上【74.3%】	×
			2 科学研究費補助金獲得額42,846千円以上【71,578千円】	○
II	34	b	1 「市民のためのオープンキャンパス」を実施【中止】	×
			2 市民のためのオープンキャンパスの実施回数年1回以上【中止】	×
	35	a	1 山陽小野田市と連携し、健康に関する市民講座を開講【中止】	×
			2 市民講座の実施回数年1回以上【中止】	×
	36	a	1 「サイエンス・カフェ」を開催【開催】	○
			2 サイエンス・カフェの実施回数年6回以上【4回】	×
	37	a	1 「理科教員のためのリカレントセミナー」を開催【中止】	×
			2 理科教員のためのリカレントセミナーの実施回数年1回以上【中止】	×
	38	b	1 技術相談会、研究室公開、情報交換会等を開催【中止】	×
			2 研究・技術公開の実施回数年1回以上【中止】	×
	39	a	1 フィールドワークを基にした課題解決授業の開講年1科目以上【1科目】	○
	40	a	1 地域のキーパーソン、産業界のリーダーを講師として招く【実施】	○
			2 リーダーシップを育成する授業の開講年1科目以上【リーダーシップ論】	○
	41	a	1 地域で活躍する方を講師として招く【実施】	○
			2 学術と地域文化を学ぶ文理融合授業の開講年2科目以上【3科目】	○
	42	b	1 「大学開放授業」を開講【中止】	×
			2 大学開放授業の開講数年10科目以上【中止】	×
	43	a	1 人生100年時代を見据えた生涯教育プログラムを実施【実施】	○
			2 生涯教育プログラムの実施回数年1回以上【実施】	○
	44	a	1 全教員の技術シーズ集を作成【作成】	○
2 産業技術コーディネーターによる市内企業訪問を実施【実施】			○	
3 県内・市内企業との新規共同研究又は受託研究数2件以上【3件】			○	
45	a	1 共同研究の実施件数、受託研究の委託件数、特許の取得件数の増加【共同研究19件⇒29件、受託研究13件⇒22件、特許出願5件⇒4件】	×	
		2 地元企業と、共同研究及び受託研究等の推進、研究者や技術者の人的交流、インターンシップに取り組む【実施】	○	
		3 地元企業との包括連携協定の締結1件以上【1件】	○	
46	a	1 地方自治体等の審議会及び委員会に委員として参加【参加】	○	
		2 地方自治体や地域民間団体の審議会等の委員の就任件数年20件以上【20件】	○	
47	a	1 地域推薦県内枠、地域推薦市内枠を継続【継続】	○	
		2 入学定員を充足【充足】	○	
		3 入学者に占める県内出身者の割合25%以上【31.0%】	○	

大項目	No.	法人評価	目標の実施状況	達成状況
Ⅱ	48	a	1 県内企業インターンシップの参加率を高める【減少】	×
			2 卒業者に占める県内就職者の割合30%以上【41.9%】	○
	[7]	a	1 入学者に占める県内出身者率25%以上【31.0%】	○
	[8]	a	1 県内企業就職率37.4%以上【41.9%】	○
Ⅲ	49	a	1 総合戦略会議を創設【創設】	○
			2 総合戦略会議の開催年10回以上【開催】	○
	50	a	1 地方独立行政法人法に基づいた簡素で効率的な運営組織に移行【移行】	○
	51	a	1 適正な人事評価と人材育成の強化【強化：教員業績評価委員会を組織】	○
	52	a	1 公立大学協会における業務別の大学事務研修会に職員を派遣【派遣】	○
			2 公立大学協会研修会への職員派遣年2回以上【2回以上】	○
	53	a	1 SD研修を実施【実施】	○
			2 SD研修をの実実施回数年2回以上【9回】	○
	54	a	1 前年度を上回る志願者を獲得【3,186人⇒2,339人（847人減）】	×
			2 高校生対象オープンキャンパスの実実施回数年1回以上【オンラインで開催】	○
	55	a	1 大学運営の中立性・透明性の担保 【理事、経営審議会、教育研究審議会の外部有識者の割合40.7%】	○
	56	a	1 「ほんものの科学体験講座」、「小学生が学ぶ医薬品教室」等を実施【中止】	×
			2 ほんものの科学体験講座の実実施回数年20回以上【中止】	×
	57	a	1 市内の小・中学校へスクールボランティアを派遣【中止】	×
			2 スクールボランティアの派遣校数年2校以上【中止】	×
	58	a	1 内部監査の実実施回数年1回以上【実施】	○
	59	a	1 監事監査の実実施回数年1回以上【実施】	○
	60	a	1 東京理科大学への特別編入学制度、大学院特別推薦入学制度等を継続【継続】	○
			2 公立諏訪東京理科大学との連携を推進【推進】	○
			3 東京理科大学との職員合同研修会の実施回数年1回以上【中止】	×
	61	a	1 中国・四国地区の公立大学とたの勉強会及び情報交換を実施【実施】	○
2 公立大学法人等運営事務研究会等に参加【参加】			○	
62	a	1 JABEEの基準に基づき、工学教育の学科自己点検・評価を行う【実施】	○	
63	a	1 JABPEの基準に基づき、薬学教育の学科自己点検・評価を行う【実施】	○	
64	a	1 CBT、OSCEの試行試験を実施【実施】	○	
		2 模擬患者の募集と研修を実施【実施】	○	
		3 模擬患者の養成数30名以上【57名の登録】	○	
65	a	1 科学研究費補助金の申請説明会を開催【動画配信により開催】	○	
		2 科学研究費補助金の申請率の増加【75.0%⇒74.3%】	×	
		3 科学研究費補助金の採択率の増加【17.1%⇒14.8% 2.3ポイント減】	×	
		4 科学研究費補助金の申請率が科研費応募資格保有者の75%以上【74.3%】	×	
66	a	1 WEBシステムを利用した健康管理時間の把握【実施】	○	
67	a	1 事務職員の自己申告制度を活用【活用】	○	
		2 山陽小野田市と事務職員の人事交流【実施】	○	

大項目	No.	法人評価	目標の実施状況		達成状況
Ⅲ	68	a	1	学生アパート紹介業務、学生宿舎の管理、清掃業務等の外部委託【実施】	○
	69	a	1	事務局にIR室を設置【設置】	○
Ⅳ	70	a	1	大学院薬学研究科薬学専攻の設置に向け、大学院設置申請書の作成【作成】	○
	71	a	1	外部資金及び競争的資金獲得に向けた研修会を開催【中止】	×
			2	外部資金及び競争的資金獲得に向けた研修会の実施回数年1回以上【中止】	×
	72	a	1	教員研究費としてインセンティブ特別配分を実施【実施】	○
73	a	1	キャンパスマスタープランの内容を計画的に実施【実施】	○	
Ⅴ	74	a	1	機関別認証評価の評価項目に沿った自己点検・評価の実施【実施】	○
			2	JABEEの基準に基づき、工学教育の学科自己点検・評価を行う【実施】	○
	75	a	1	機関別認証評価機構の指標に準じた自己点検・評価を実施【実施】	○
			2	薬学教育評価機構の指標に準じた自己点検・評価を実施【実施】	○
76	a	1	第三者評価の結果を大学ホームページに掲載【掲載】	○	
Ⅵ	77	a	1	新グラウンド、新テニスコートの整備を行う【実施】	○
	78	a	1	学生や研究従事者の健康保全及び安全衛生の取組の実施【実施】	○
			2	作業環境測定の実実施回数年2回以上【実施】	○
			3	局所排気装置の点検回数年1回以上【実施】	○
	79	a	1	薬品管理システムを適切に運用【実施】	○
			2	高圧ガス・液化ガス利用者安全講習会の実施回数年1回以上【中止】	×
			3	放射線・X線実務者訓練の実実施回数年1回以上【オンラインで実施】	○
	80	a	1	防災訓練及びAED救急講習会の実施回数年1回以上【実施】	○
81	a	1	リスクマネジメント組織を整備【整備】	○	
82	a	1	学生消防団員加入者数10名以上【27名】	○	